



冷え込みが徐々に厳しくなってきた12月。各感染症が増加傾向にあります。園でもインフルエンザが発症し始めました。うがい・手洗い・消毒など日常的な予防に加え、予防接種も有効に活用しましょう。

第三者アンケートのご協力ありがとうございました。第三者機関による集計結果は年度末に公表、更なる園改善に向けて皆様と共有させていただきたいと思っています。

来る12月4・5日の保育参観は感染症を考慮し、外での参観としました。乳児は園庭での遊びをご覧ください。心身ともに成長が著しく、活発で明るい乳児たちを。幼児はスポーツ教室の様子をご覧ください。良き指導者に恵まれ成果絶大な園児は河田の誇りです。

今年もあと一ヶ月。子どもたちは、クリスマスやお正月を待ちかねています。年の瀬を迎え、ご父母の皆様にはお忙しきことと思いますが、健康安全を第一に、よき年をお迎えになられますようお願いしております。

躰(しつけ)を諦めない

どんなに親が強く願っても子どもは思ったように育つとは限りません。親が願望を託してみても、そのように育たないことが多いのではないのでしょうか。そういう時は諦めというネガティブですが、「それもこの子の人生」と受け止めて、認めてあげることが必要なのだらうと思います。

ただし、諦めて(受け容れて)しまっていていいことと、いけないことはあります。後者の代表的なものが躰(しつけ)です。躰とは生まれた国・場所の文化を教える行動に反映させていくことです。例えば、日本では食事で箸を使いますが、海外には手で食べる習慣のある国が沢山あります。日本で生きていくなら、その国で是とされている方法を教えていかなければなりません。

親がよくやりがちなのが、本当の理由を説明せずに“手近な言い方”でその場を収めようとする事です。例えば、子どもが食卓に乗ったとします。親は「危ないから下りなさい」と言うのですが、子どもは公園でもっと高いところから飛び降りたりするものなので、それほど危ない行為ではないのかもしれない。本当は「テーブルはみんなが食事をするところだから乗ってはいけません」と伝えたほうがよいでしょう。

子どもは3歳にもなれば本当の理由が理解できるのに、“子ども扱い”してその場しのぎの言い方をするので、何度も言わなければならなくなります。本当のことを伝えれば子どもはちゃんと理解します。

さようなら、おげんきで

とら組 かとう しゅんた さん

11月末で転園しました。また、遊びに来てね。



12月行事予定表

12月04日(水)	保育参観(乳G)	保育園	うさぎ・やぎ組
05日(木)	々(幼G)	々	とら・くま・ぞう組
13日(金)	クリスマス誕生会	々	全園児
18日(水)	クリスマス観劇会	々	々
20日(金)	餅つき会	々	々
21日(土)	冬季保育開始 ~1月07(火)迄		
24日(火)	避難訓練	保育園	全園児
29日(日)	年末年始休暇 ~1月03(金)迄		
下旬	身体測定	保育園	全園児



たんじょうび

おめでとうございます!

12月うまれのおともだち

くま組	こまつ	ゆう	々	2019年12月14日生まれ
	ますざわ	りの	々	12月14日 々
とら組	ぬまた	よしざね	々	2020年12月05日 々
やぎ組	おがわ	ゆみ	々	2021年12月06日 々
	ながえ	ゆうと	々	12月22日 々
	かわさき	わたる	々	12月22日 々
	ぬまた	まさむね	々	12月29日 々
せんせい	いしかわ	のぶよ	々	? 年12月12日 々



「子どもの自立」親の子離れ

親が子どもに服を着せる場合、1歳後半頃から少し楽になっていくものです。親が、服の身頃側の袖の入口に子どもの腕を曲げて持って行ってやると、そこからは自ら手を伸ばして、袖に手を通そうとしてくれます。親が、服を着やすい位置に持ってだけで、子どもが自ら着てくれるようになるのです。それで、着替えがよりスムーズに感じるようになるわけです。生活の端々で、乳幼児期から、このように自分にできることを自らしたがるようになります。「すごいね、自分で出来るんだね」と褒めると、有能感が芽生え、親が全てやってあげなくても、少しの援助と工夫によって自らするようになっていきます。子どもの自立心の芽生えを捉え、見守る援助が親離れのスタートです。

